

## 新たな科学技術の社会実装に係る社会問題等への対応の方向性

1. 社会問題の俯瞰・分析及び人文社会科学研究者やNPO等多様なステークホルダーとのネットワークを活かしたシンクタンク機能の強化  
 ⇒国内社会問題とSDGsとの関係分析、多様なステークホルダーによる社会問題の優先順位付け、AIの活用などの新規取組
2. SDGsの達成及び科学技術の倫理的・法的・社会的課題(ELSI)への対応のための社会技術研究開発の推進  
 ⇒多様なファンディング・スキームによる調査分析及び社会技術研究開発・社会実装活動の推進

### ELSIに関する検討の方向性

(Seviceology 2017.4 記事「情報技術と社会を再構成する視点」江間有沙氏を基にRISTEX作成)

問い:新技術の社会実装における課題は何か?

視点:法の未整備、技術的未熟さ、環境適合性、既得権益の抵抗、人々の価値観や順応性とのずれ、等々

対応:ステークホルダー間の検討・調整

例:自動走行技術、ゲノム編集技術、カーボンナノチューブ、遺伝子改変植物

研究課題のELSI検討

調整型ELSI(Implementation)アプローチ

A. 新しい科学的知見や技術を起点としたイノベーション

Discipline

- ◆ 環境
- ◆ ナノテク
- ◆ ライフ
- ◆ 情報
- ◆ Etc..

萌芽的新技術

邂逅・  
相互作用

社会問題

- ◆ 少子・高齢化
- ◆ 安全・安心
- ◆ 環境・資源
- ◆ 科学技術と社会

社会問題の俯瞰調査結果

B. 社会的問題や期待、社会動向を起点としたイノベーション

社会技術の視点を入れた共創アプローチ(再構成型ELSI(Implication)アプローチ)

テーマ設定段階からの人社及び社会技術的視点の導入(社会的価値)

問い:問題解決のために期待される技術・システムが社会に本当に必要なのか?

視点:代替策・適正技術の可能性検討、「三方(売手、買手、世間)良し」となっているか、技術に対する要求仕様の提示

対応:技術開発の上流部分から研究者とステークホルダーが協働

例:シンギュラリティと社会、STI for SDGs、分子ロボット技術等Emerging Technology